

東京農業大学

東京農業大学奥多摩演習林研修センターの利用停止について

東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林

2025年4月に研修センター事務室周辺において地盤の陥没を発見したため、演習林の利用を一時停止しました。その後、応用地質（株）による目視調査の結果、研修センター立地の盛土陥没と亀裂との関係が示唆された一方で、資料館への影響は無いことが報告されました。これを受け、演習林では研修センターを使用しない日帰り利用のみの受け入れを開始し、同時に応用地質（株）による本格的な地盤調査を実施しました。その結果、懸念されていた床下亀裂については、建物の安全性に問題はなく、陥没箇所につきましても、現在確認されている長さ3.2m、幅0.8m、深さ1.5mの陥没以外の場所に空洞は存在しないことが確認されました。2025年11月現在、陥没箇所に対して修繕工事を実施する手続きを進めています。

演習林立地と利用者対応に関するアンケート結果

東京農業大学奥多摩演習林の将来構想作成の参考資料のために、2025年11月に全国演習林協議会加盟演習林を対象に「演習林の立地と利用者対応に関するアンケート」を実施しました。17件の回答があり、結果の概要は以下の通りです。ご協力ありがとうございました。

質問1. 演習林へのアクセスについて、最寄り駅からの徒歩および車での移動時間を教えてください。

最寄り駅から徒歩での移動時間は、15分～6時間40分と幅があり、15～20分程度が最も多かった（5件）。最寄り駅から車での移動時間は、5分以下～1時間50分までの幅があった。80%は30分以内の移動時間であり、5分以下～10分までが最も多かった（7件）。

質問2. 演習林へのアクセスについて、演習林までの道路状況について教えてください。（常時通行可／凍結で通行止めあり／土砂で不安定等）

全ての回答において演習林までのアクセスは「常時通行可」であった。一方で、少数（5件）ではあるが、常時通行可ではあるが積雪や土砂崩れなどによる通行止め等でアクセスに制限が発生する場合もあることが報告されていた。

質問3. 演習林（林地。以下、敷地内）と事務所、宿泊施設の位置関係について、次のうち該当するものを選んでください。

最も多かった回答は「②演習林敷地外に事務所と宿泊施設があり、両者は同一建物内または隣接している。」で7件であった。次いで、「①演習林敷地内に、事務所を併設した宿泊施設がある。」

が多く、5件であった（図1）。この2つの回答が全体の約71%を占めていた。

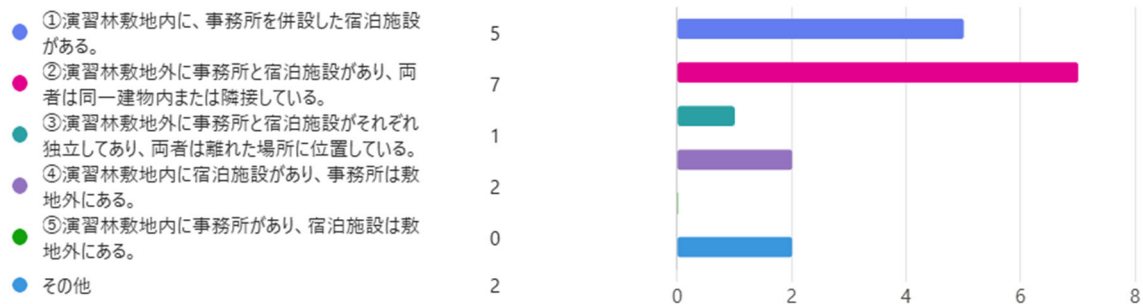


図1. 質問3の回答とその件数

質問4. 質問3において、①以外を回答した方に質問です。演習林と事務所、宿泊施設が離れた場所にある経緯をわかる範囲でお聞かせください。

12件の回答が得られた。経緯が不明という回答が4件あった。経緯が分かっているものでは、演習林の立地におけるインフラやアクセスの悪さからそれらが整っている集落部に事務所等を設置したという回答が多かった（4件）。

質問5. 演習林と事務所、宿泊施設が離れていて良い点と悪い点について、お気づきの点がありましたらお聞かせください。

良い点については、事務所等が集落部にあることでアクセス等の利便性が上がること（4件）や、災害時の安全確保が容易である点（2件）が上がっていた。一方で、良い点は無いという回答も3件あった。悪い点については、演習林と事務所等の間の移動に時間がかかる点（3件）や事務所等から演習林の状況を確認できない点（2件）が上げられた。また、悪い点が無いという回答が2件あった。

質問6. 宿泊施設がある場合、宿泊可能人数を教えてください。

宿泊可能人数には、約20~70名の幅があった。最も多かった回答は、約30~50名であった（11件、約65%）。

質問7. 年間の利用者数を教えてください。（貴学学生延べ人数、および外部利用者）

一つの演習林当たりの年間の利用者数は、約800~2600人であった。最も回答数が多かったのは、約1000~2000人（11件、約52%）であった。利用者の内、学内利用者は、約400~1400人であり（回答10件）、最も多かった回答は約500~1000人（6件、60%）であった。学外利用者は、約100~1100人であり（回答10件）、約100~500名（5件、50%）が最も多かった。また、学外より学内の利用者の方が多いという回答が全体の80%（8件）を占めていた。

質問8. 演習林利用者の入退林管理や安全管理をどのように行っているか教えてください。また、学内関係者（学生を含む）と学外関係者で対応が異なる場合は、その違いを教えてください。

最も多かった回答は、入林届等によって事前に申請する形式であった（6件、約32%）。次に多かった回答は、演習林の窓口における受付であった（4件、約21%）。これら以外に、ホームページなどのインターネットを用いた利用申請やキャンパスでの受付、無線や電話等での演習林への連絡が回答されていた。

質問 9. 演習林利用者が来演した際の対応について、受付方法（受付場所や手続き方法など）を教えてください。

来演した際の対応については、事務所の窓口等で受付を行っている場合が最も多かった（12件、約67%）。他に、メールやFAXなどを用いた連絡のみの場合やキャンパスで受付を行う場合があった。

質問 10. 演習林利用者が来林した際の対応について、演習林敷地内までの移動方法（送迎の有無、自家用車利用の可否など）を教えてください。

来林した際の対応については、送迎を行っているという回答が4件、学生のみ送迎を行っているという回答が1件、利用人数が多い等の特別な場合のみ送迎を行っているという回答が3件、送迎を行っていないという回答が4件であった。また、送迎以外での演習林敷地内までの移動方法として自家用車を利用している場合が最も多く（14件）、他にバスや徒歩、貸出の自転車等が上げられた。

質問 11. 宿泊者の食事について教えてください。（自炊、施設で調理して提供等）

宿泊施設がある演習林（16件）では、食事を基本的に自炊とする回答がほとんどであった（15件）。1件は施設で食事を提供していた。また、実習時のみ施設から食事が提供されるという回答が3件、実習時のみ学外業者による食事提供を行っているという回答が4件であった。

質問 12. 宿泊利用者がいる時に職員がどのような対応をしているか教えてください。（学生の場合、宿泊施設に宿直職員を配置する等）

宿泊利用者がいる時の対応については、宿直等の就業時間外の特別な対応をしていないという回答が最も多く（7件、約37%）、次いで指導担当教員が対応するという回答が多かった（6件、約32%）。